

東予地域

ものづくり産業を核にした地域連携による
活力創造圏域の形成を目指します

地域の特性

- 東予地域は、四国の中央部に位置して四国の他の3県と接するとともに、四国4県の県庁所在地を結ぶ四国8の字ネットワークの結節点を有するほか、しまなみ海道を通じて広島県とも接しています。
また、東予港や三島川之江港などの重要港湾を擁し、陸と海の交通の要衝となっています。
- 製紙・紙加工業が集積する四国中央市、住友グループの企業城下町として発展してきた新居浜市、半導体、造船、ビール、鉄鋼などの工場が立地する西条市、造船、タオル、石油関連の工場が立地する今治市と、地域ごとに特徴のある産業が集積し、製造品出荷額は県全体の8割近くを占め、四国一のものづくり産業の集積地となっています。
また、全国1位の生産量を誇る愛宕柿やはだか麦をはじめ、水稻、野菜、果樹、養鶏など自然条件を活かした多様な農林水産業が展開されています。
- 東西にわたって10万人規模の4市が隣接し、それぞれに一定の都市機能を備えており、通勤通学が市町の域を越えて行われるなど、地域内交流も見受けられます。
- 燐灘に沿って中央構造線が東西に走り、その南には石鎚・赤石山系の山々が、また、北には多島美を誇るしまなみ地域があり、比較的温暖な気候の下、希少生物も生息する雄大で豊かな自然環境を有しています。



地域の課題

- 世界市場を対象に活動する企業が多く、グローバル化が進展する中で、外国企業との競争に打ち勝つために、生産拠点の海外移転も含めた検討が行われており、空洞化が懸念されています。
- 中核企業を支える高い技術力を有する中小企業が多く集積していますが、優秀な技能を持った職人が定年等で減ってきており、人材の確保と育成が課題となっています。
また、域内企業には、下請け体质から脱却できていない傾向もあり、異業種との交流や独自の研究開発、販路開拓などに、もっと積極的に取り組み、企業体质の強化を図る必要があります。
- 農業の担い手減少、耕作放棄地の増加等に加え、農産物価格の低迷や自然災害など、農業・農村を取り巻く環境は極めて厳しい状況となっている中、次代を担う人材の育成を急ぐとともに、農地の保全と有効利用、産地の育成など、地域農業を持続的に維持・発展させていく新たな仕組みづくりに取り組む必要があります。
- 自転車でも歩いて渡れるしまなみ海道、西日本最高峰の石鎚山、近代化の歴史を物語る別子銅山産業遺産、豪華絢爛なだんじり、勇壮華麗な太鼓祭り、水引き細工等伝統的な紙文化など、他に誇るべき観光資源は豊富にあるものの、全国的な知名度は低く、本州から松山・道後温泉に入る動線上にある立地を活かした観光振興を図る必要があります。
- 人口減少により、周辺部の地域の足となってきた生活バス路線や島しょ部の生活航路の存続が難しい状況になっているほか、医師不足によって救急医療体制の運営維持が厳しく、中心商店街も空洞化するなど、都市機能が低下する中で、高齢者など誰もが快適で安全・安心に暮らせる環境を守る必要があります。
- 企業や住居が密集する沿岸部に海拔ゼロメートル地帯があり、また、芸予地震や大規模な水害・土砂災害、集落の孤立化などの経験を踏まえ、地震や台風等による災害に備える必要があります。
- 森林が本来持っている水源涵養や地球温暖化防止等の公益的機能を高めるほか、自然公園等の適正利用の促進や生物多様性の保全を図る必要があるとともに、ものづくりの工場等が集積するこの地域では、産業の振興と調和して自然環境を守ることが必要です。



地域振興の基本方向

① ものづくりを基軸とした足腰の強い産業基盤の形成

■企業留置による雇用の確保

産業集積の中核となっている企業が生産拠点を海外等に移転することを防止するため、立地存続に必要な港湾、道路等のハード整備に取り組むとともに、企業ニーズを把握し、企業の立場に立ったフォローアップを行うことにより企業留置に努め、雇用の場の確保を図ります。

■ものづくり産業を支える人材の確保・育成の支援

小・中学生を対象とした地域産業学習、工場見学や実業系の高校におけるインターンシップ体験などにより、地域産業に対する理解を促進するとともに、大学生の地元企業へのリターンを支援し、ものづくり産業を支える人材を確保します。

また、人材育成施設への支援などにより、技能継承を進め、若手技術者を育成します。



ものづくり産業振興センター

■中小企業の体质強化

産業支援機関や金融機関、研究機関等と連携し、異業種交流、研究開発、販路開拓などに積極的にチャレンジできる環境を整備し、意欲ある企業、経営者を支援します。

■農林水産業の担い手の育成と新しい農林水産業ビジネスの展開

企業集積地である地域の特性を活かして、企業が有するものづくり技術や販売力、経営ノウハウ等を活用し、高い能力と多様な資質を有する農林水産業の担い手を育成します。

また、一次産業と二・三次産業を結ぶ農商工連携に取り組みやすい地域の優位性を活かして、6次産業化など、農林水産業の高度化・効率化・產品の高付加価値化につなげる新しい農林水産ビジネスの展開を支援します。

② 地域資源を活かした魅力ある観光交流圏の創造

■産業観光の振興

別子銅山産業遺産等の保存・活用に取り組むとともに、タオル、造船、紙などの工場、産業観光につながる資源が豊富にあることから、体験学習、修学・研修旅行の誘致や新たな視点でのツアーカー商品の開発などに取り組みます。



東平野鉱庫

■しまなみ地域の活性化

周遊・滞在型のサイクリングの普及に努めるとともに、グリーン・ツーリズムと連携して、地域住民との交流を促進することにより、サイクリストの聖地としての地位を確立します。



しまなみ海道サイクリング

■広域観光ルートの構築

愛媛の陸の玄関口という立地を活かして、個々の観光資源の魅力を引き出すとともに、「坂の上の雲」のまち松山とを結んだ物語性のある広域観光ルートの構築に努めます。

また、着地型観光をコーディネートする組織や人材の育成を図るとともに、地域資源を活かした土産品、「食」の開発や、滞在時間の延長や宿泊を伴う企画の商品化を促進します。

■自然環境の保全とエコツーリズムの推進

加茂川・中山川河口に広がる県内最大の干潟、石鎚・赤石山系の山々、しまなみ海道周辺の島々など、かけがえのない豊かな環境とそこに生息する希少生物を保護するため、自然環境の保全やその魅力を活かしたエコツーリズム、グリーン・ツーリズムの推進に努めます。

③ 健康と安心が支える元気あふれる地域づくり

■住民の安心を支える地域医療の確保

地域の医療を地域の財産として住民が守る気運を醸成するとともに、大学、医師会、医療機関、消防、住民、行政等の関係機関が連携を図り、救急医療、災害医療、小児医療など、住民の安心を支える医療の確保に努めます。

■中小企業における健康づくりの支援

住民主体の健康づくりをきめ細かく推進する視点から、特に「ものづくり」を支える中小企業の従業員等に重点を置いて、事業主の意識改革、従業員等の健康診断・がん検診受診率の向上、生活習慣の改善など、健康づくりを進める上で重要な職域保健の充実に努めます。

■社会的弱者を支えるコミュニティ力の充実

子どもや高齢者、障害者などが周囲に支えられ、住み慣れた街で、生涯、安心して暮らすことができる地域社会づくりを支援します。

④ 都市機能の充実・再生と災害対応力の強化

■地域内連携の推進

共通する地域課題に対応し、都市機能のより一層の強化を図るため、地域内の市町はもとより経済関係団体をはじめ各種団体の地域内連携を推進します。

■交通ネットワークの充実

今治小松自動車道の早期全線開通や国道11号の渋滞緩和対策などの主要道路整備や、離島間をつなぐ上島架橋を推進するとともに、鉄道、バス、島しょ部をつなぐ航路など、公共交通機関の利便性の向上を図るほか、住民ニーズに応じた福祉バスやデマンド交通（乗合タクシー）などを適切に組み合わせることにより、まちづくりの基盤となる交通ネットワークの充実に取り組みます。

■都市環境づくりの推進

地元企業及び地域住民との連携・協力による中央分離帯の防草対策など、創意工夫による維持管理手法により、コストの縮減を図り、道路施設等の効率的・効果的な管理に努めながら、快適で安全な都市環境を維持します。

■都市機能がコンパクトに集積したまちづくりの推進

子育てや地域情報発信等に関するNPO等を育成するなど、住民と協働したまちづくりを支援するとともに、地域コミュニティの核となる中心市街地・商店街の活性化に取り組み、子どもや高齢者、障害者など、すべての住民にとって暮らしやすい、多様な都市機能がコンパクトに集積したまちづくりを推進します。

■地域と企業等の連携による防災力の強化

河川等の防災施設の整備を推進するとともに、行政や企業、住民が連携・協力して防災力の向上を図るために、企業と地元自治組織等との災害時応援協定締結などを支援します。



東予港海岸高潮対策事業

■企業に隣接する地域の安全対策の向上

石油コンビナートや化学工場などの製造施設に起因する二次災害への安全対策の周知徹底を図ります。

■森林の適正管理の促進

16年災害を教訓として、森林が本来持っている水源かん養や土砂災害防止等の公益的機能を高めるため、森林の適正管理を促進します。